

エアコンの設定温度について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2022年6月15日)

エアコンの設定温度の見直しをお願いしたいです。端的に申し上げますと、暑いです。

小さな教室では十分にエアコンが機能していることの方が多いように感じますが、特に文学部の第三講義室のような広く、かつ受講人数も多いような教室で開かれる授業では大変息苦しいことがあります。このような教室だけでも25~26度での設定に一時的に可能にするよう考慮していただけないでしょうか。

以下理由と考えられる反論に対する意見まで拙考ではありますが述べさせていただきます。お忙しい中恐縮ですが、ご検討、誠意ある回答をお願いいたします。

現在日本では環境省の基準にのっとり冷房の設定温度が27~28度になっていることが多いようですが、本当に実生活に即しているかは疑問が残るところです。

そもそも環境省が定める「28度」というのはエアコンの設定温度ではなく室温の話なので対策としては最適な室温を維持できるようにエアコンの温度を設定するのがふさわしいと思います。

また、別の点として湿度という側面があります。この時期は湿度も高いですし、室温や気温自体はそれほど高くないにしてもひどく蒸し暑さを感じる時があります。そこも考慮していただきたいと感じます。

さらにコロナ禍以降今年が正式に対面形式でなされる授業も増え、そこで初めて出てくる問題もあると思われます。特にマスクをして息苦しい中この人数密度で暑さを感じながら90分座っておくのはかなり苦痛な人もいるのではないかと思います。

先生方も一様に「エアコンはすでに28度なので下げられない。暑いだろうが我慢してくれ。」といった旨を述べられることがありますが、そのような非柔軟な対応では十分な学習が可能な環境は守られないでしょう。

もし25~26度に設定したら寒くて気分が悪くなる人が出てくるという意見も考えられますが、エアコンの風が直当たりしているようだから席を変更する、一時的に教室の外に出てあたたまるなどの対策がとりやすいですが、教室で暑くて苦しんでいる人は対応策が少ないように思えます。

つまりは、寒くて気分が悪くなるかもしれない人への考慮をするメリットよりも、現状(今後さらに暑くなってくることも含めるとこれからさらに)の暑さ対策をしないデメリットの方が大きいように感じられるのです。

ご教授頂いている先生にお手数ですが、適宜室温について学生に意見を聞く時間をとっていただければ熱いか寒いかの調整もできるのではないかと考えられます。

長くなりましたが、お忙しい中読んでいただきありがとうございます。
難しいこともあると思いますが、どうかご検討いただけないでしょうか。

【回答】(回答日:2022年6月24日)

(回答部署:教育推進・学生支援部)

投稿いただいたように、エアコンの設定温度が最適ではない教室もあるかと思えます。その際は、当該授業を担当している教員に直接言っていただくか、もし直接言いづらい場合は各建物を管理しているそれぞれの部局教務掛にご相談ください。今回の投稿を受け、各部局の教務掛には教室のエアコン温度管理について配慮するよう連絡しています。